

もくじ

- ・ ききみみずきん

# ききみみずきん

げんさく 原作：にほん 日本むかしばなしの昔話

イラスト：ちひろ

へんしゅう 編集：YellowBirdProject

3

むかしむかし、あるところに、<sup>ひとり</sup>一人のおじいさんが  
いました。

<sup>いえ ゆうふく</sup>家は裕福ではありませんでしたが、おじいさんは  
<sup>まいにち そな もの も やま かみさま まい</sup>毎日お供え物を持って、山の神様のほころにお参りに  
<sup>かよ</sup>通っていました。

ある日、おじいさんがいつものように、<sup>やま かみさま</sup>山の神様の  
<sup>いの</sup>ほころでお祈りをしていると、<sup>とつぜん ふ し ぎ こえ</sup>突然不思議な声が  
<sup>き</sup>聞こえてきました。

『<sup>まえ</sup>お前はとても<sup>しんじんぶか</sup>信心深い。そんなお前に、<sup>まえ</sup>良いものを  
<sup>さず</sup>授けよう』

すると、おじいさんの<sup>あたま</sup>頭の上に、<sup>うえ</sup>なにかが  
ぱさりと<sup>お</sup>落ちてきました。



5

『それは【ききみみずきん】といって、それを  
かぶると、<sup>とり</sup>鳥やけもの<sup>ことば</sup>の言葉がわかるようになる  
のだ。それを<sup>つか</sup>使って、<sup>ひとびと</sup>人々のためになるようなことを  
しなさい』

「はい<sup>かみさま</sup>神様、ありがとうございます！」

おじいさんは<sup>かみさま</sup>神様に<sup>ふか</sup>深くおじぎをして、<sup>いえ</sup>家に<sup>かえ</sup>帰って  
いきました。

